

令和4年度 事業計画書

自 令和 4年 4月 1日

至 令和 5年 3月 31日

公益財団法人 加越能育英社

東京都文京区小石川3丁目11番6号

事業計画

1. 石川富山明倫学館の運営

旧寮舎建て替え工事・公益財団法人石川県学生寮との統合の完了から、本年度（令和4年度）は石川富山明倫学館として8年目の運営となる。令和元年には加越能育英社140周年・石川富山明倫学館111周年記念事業を実施した。

昨年度（令和3年度）は、一昨年度同様新型コロナウイルス感染予防対策に全力を傾注した。特に3密防止・殺菌消毒について、共用設備及び寮生行動ルール化の両面で学生自治会と協力して最大限の対応を実施した。今年度も過去2年間の経験を踏まえて予防対策に最優先で取り組むと同時に、極力通常の寮活動の再開を目指す所存である。

(1) 受入学生数	収容人員	120名（石川県80名、富山県40名）
(2) 納付金	館費（月額）	12㎡（約7畳） 30,000円（120室）
	入館金	50,000円
	共益費等（月額）	15,000円
	食費等（月額）	20,000円（定期的に精算）
	保証金（預かり金）	30,000円（退寮時に精算）

令和4年度も、消費税増税（8→10%）による値上げはせず前年度同額とする。

(3) 新寮舎の適正な管理

昨年度は新寮舎完成後（平成27年2月竣工）の7年目となり、不具合箇所の改修工事として、食堂・図書室のWiFi更新や玄関・総務室の自動ロックシステムの更新工事等を実施した。また新型コロナ対応として、感染者の一時隔離場所として使用する家族宿泊室の換気能力増強工事を実施、共用棟エアコンに設置した抗ウイルスフィルターの交換も実施した。また、食堂にウイルス対応空気清浄機を設置した。

本年度も関連業者との緊密な連携のもとその運用について適正な管理を継続し、各施設を良好に維持すると共に、各設備の一層の経費節減、運営の効率化に努力する。

(4) 寮生活に対する指導

石川富山明倫学館が寮生一人ひとりの憩いの場であり、学習の場として安心・安全を実感できる寮生活を送れるように引き続き環境整備を図りたい。また、有為な人材としての自主性、自立性、社会性を身につける場としての寮生活となるよう、ここ2年間中止していた寮行事を復活し、新型コロナウイルス感染状況を注視しつつ、日常の交流や学館・近隣行事の再開及び参加を促し、人格形成に役立てていく。

本年度は石川富山明倫学館開設8年目であり、寮生全員が石川富山明倫学館入館生となって3年目となることから、コロナ禍でここ2年間活動が停滞している学生自治会についても、一層活発な活動が展開されるよう充分配慮することとする。石川県富山県及び地元企業の企画行事への継続参画にも配慮する。

寮生指導の一環として、塾生OB懇話会並びに優秀寮生の顕彰を行っている。懇話会は平成28年度より隔月での開催であったが、昨年一昨年度は開催中止となった。本年度は是非再開を目指したい。顕彰制度は、平成21年度から理系2名と文系2名を顕彰することとなっており（顕彰金10万円/人）、本年度も4名を顕彰する予定である。

尚、本年度は塾長交代を計画しており、寮運営及び塾生指導の円滑な引継ぎのため塾長補佐役（1年間程度）を前塾長に依頼する予定である。

2. 奨学金給付

(1) 畠山奨学金の給付

昭和35年以来、荏原畠山記念文化財団（旧畠山文化財団）より毎年助成を受け、石川富山両県出身の理系学生に月額20,000円の畠山奨学金の給付を行ってきた。一昨年度から、周年記念事業（加越能育英社140周年・石川富山明倫学館111周年）の一環として文系学生にも同額の奨学金給付を開始した。

令和4年度も、理系及び文系4年生各2名、3年生各2名、合計8名に給付する予定である。

3. 令和4年度の主な行事予定

4月 新入館生オリエンテーション
令和4年度入館式

- 5月 会計・業務監査
第16回塾生OB懇話会
- 6月 第1回理事会
定時評議員会
全国学生寮協議会
スポーツ大会（自治会主催）
- 7月 石川県父母会、富山県父母会
第17回塾生OB懇話会
- 8月 食堂休業（8月上旬から中旬）
- 9月 第18回塾生OB懇話会
- 10月 畠山奨学生選考
- 11月 石川富山明倫学館寮祭（自治会主催）、
石川・富山県高等学校訪問
畠山一清翁 墓参
第19回塾生OB懇話会
- 12月 募集要項発送
食堂休業（12月下旬）
- 1月 第20回塾生OB懇話会
令和5年度第1回入館選考
- 2月 令和4年度卒館式
畠山育英賞贈呈式
第2回理事会
- 3月 令和5年度第2回入館選考
卒館生退寮完了
食堂休業（3月下旬）